

はちまたい

20

No. 20
2010年(平成22年)
8月5日

議会だより



主な内容

- 第2回臨時会(5月11日)
新体制で議会スタート…2ページ
- 6月定例会(6月18日~24日)
一般質問に11人が登壇…5ページ

輝け、子どもたち① -東大更小- ちから

東大更小学校(遠藤力校長、児童45人)では、月1回、1年生から6年生までが数班に分かれ、自分たちでアイデアを出し合って遊びの内容を決定する「縦割り遊び」を行っています。すごろく班では、出る目の数に喜んだり、がっかりしたり…。5、6年生が低学年の子どもたちをうまくリードしながら、仲良くゲームを楽しんでいました。

八幡平市議会 議員名簿				
① 立花 安文 (55) 安代・1回	② 大森 力男 (61) 安代・1回	③ 渡辺 義光 (64) 西根・1回	④ 工藤 剛 (47) 西根・2回	
⑤ 工藤 直道 (52) 西根・2回	⑥ 渡邊 正 (54) 西根・2回	⑦ 高橋 喜代春 (60) 西根・2回	⑧ 遠藤 公雄 (65) 西根・2回	⑨ 古川 津好 (56) 松尾・3回
⑩ 小野寺 昭一 (61) 西根・3回	⑪ 田村 孝 (65) 西根・3回	⑫ 田中 榮司夫 (78) 西根・3回	⑬ 高橋 守 (48) 西根・4回	⑭ 伊藤 一彦 (55) 松尾・4回
⑮ 高橋 悦郎 (56) 西根・4回	⑯ 小笠原 壽男 (58) 安代・4回	⑰ 関 善次郎 (62) 安代・4回	⑱ 三浦 侃 (65) 安代・4回	⑲ 松浦 博幸 (72) 西根・4回
⑳ 大和田 順一 (58) 松尾・5回	㉑ 米田 定男 (63) 松尾・6回	㉒ 北口 和男 (65) 安代・6回	㉓ 高橋 光幸 (62) 松尾・6回	㉔ 瀬川 健則 (63) 西根・4回

当選証書を付与された24人の市議会議員
(4月26日、本庁舎3階大会議室)



第2回臨時会 議長に瀬川健則氏、副議長に高橋光幸氏を再選 新体制で議会スタート

任期満了に伴う市議会議員一般選挙が、4月25日に投票されました。議員定数が前回よりも2議席減った今回は、新人3人、元職2人を含む25人が立候補。7日間にわたり選挙戦が繰り広げられた結果、24人の当選者が決まりました。また、選挙後の初議会となる市議会第2回臨時会は、5月11日に市議会議場で開催されました。

議長、副議長の選出は、ともに全議員による単記無記名投票で行われ、議長には瀬川健則議員が、副議長には高橋光幸議員がいずれも再選されたほか、常任委員会委員をはじめとする各種委員や一部事務組合議会議員などが4名のとおり決まり、新たな体制で八幡平市議会が動き出しました。なお、議員の任期は、平成26年4月30日までの4年間です。

瀬川議長・就任の抱負
24人の力を合わせ 市勢の発展に全力

このたび私は、議員各位のご推挙により、議長に再選されました。大変光栄に思うと同時に、その責任の重さに身が引き締まる気持ちでいっぱいです。八幡平市は、合併して5年目を迎えます。今、景気低迷など諸課題は山積し、皆さまから寄せられる声も日増しに高まっています。「これからの八幡平市をどのようにして、もっともっと住みよいまちにしていくか」といった「思い」は、私たち議員全員の中の心に満ちあふれています。今後、24人が一丸となり、決意も新たに、市勢の発展と市民の皆さまの福祉向上に誠心誠意努力して参ります。ご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。

賛成多数で承認
八幡平市条例の一部を改正する条例の専決処分について

地方税法等の一部を改正する法律が22年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されるに伴い、

市条例の一部改正が必要となり専決処分を行いました。このことに対して議会の承認を得るものです。

問 22年分の国民健康保険税の賦課は7月のはずだ。限度額の引き上げになる条例改正を議会に諮るいとまがないとして、専決処分することは納得できない。

答 これまで、国の限度額改正に合わせて、市でもそれに沿って改正してきた流れがある。また、国保財政の状況なども考慮して専決処分したものである。

一般質問



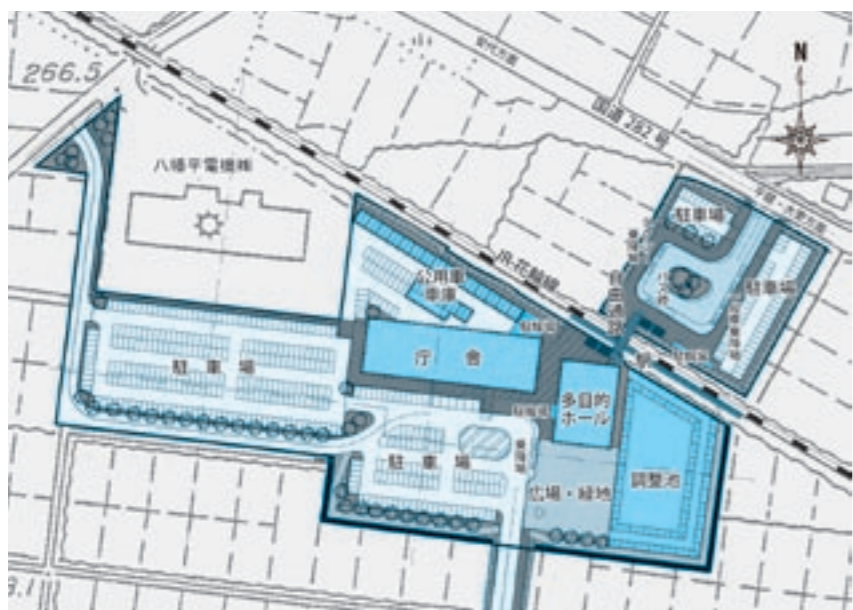
高橋 喜代春 議員 (自由クラブ)

質問した事項

- ・新庁舎建設について
- ・大更地区の環境整備計画について
- ・農業問題

庁舎建設計画 見直し必要では

市長 人口推移を注視しつつ進めていく



昨年公表された新庁舎などの施設配置計画平面図

高橋議員 庁舎建設について、合併当初人口3万2000人、合併10年後は3万人の人口で計画され、現在の人口は計画当初よりも大幅に減少しており、早急な計画の見直しが必要ではないのか。

市長 庁舎建設は、将来において揺るぎない発展の継続のために必要である。各自治体は、多様化、高度化

により、自立性の高い経営が求められている。市の人口推移を注視しながら、財源を有効に活用し、活力ある新市を創造していく。

高橋議員 建設予定地の買収は、土地取得したものなのか。

庁舎建設対策室長 予定地については、まだ買収取りをしていない。今のところ、同意をいただいているところである。

高橋議員 買収はしていないとのことだが、当局では10町当たりどのくらいの買収予定なのか。

企画総務部長 買収については、不動産鑑定をかけた買収していくという形で進めているところである。

高橋議員 土地の取得はまだ進んでいないということですが、今後その件については再度追求していきたいと思っております。

高橋議員 大更地区の環境整備事業について、これらの4年間でいかに活性化を図っていくのか。その計画を伺いたい。

市長 2年間の検討期間を予定し、今後は原案を策定し取り組む。

高橋議員 八幡平市で一番交通量の多い大更の松川地区は、盛岡市に隣接し、今後、開発に取り組んでいくことよって雇用の確保も可能な場所である。このことが大更、田頭の開発にもつながるので、可能な限り手を尽くしていただきたい。

◎平成21年度八幡平市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

田頭児童保育施設整備事業3億858万8000円や安代中学校屋内運動場改修事業1億169万2000円など58事業、10億8750万8000円を平成22年度に繰り越しました。



八幡 博 さん

全会一致で可決

◎人権擁護委員候補者の推選に関し意見を求めることについて

9月30日で任期が満了する安保忠雄さん(沢口)の後任として、八幡博さん(60歳) Ⅱ石名坂一区Ⅱを人権擁護委員に推せんしようとするものです。

問 定期監査での指摘の中で、「市職員がかかわっている各種団体の事務局および通帳管理のあり方について、決定された方針に従っていないものがある」とあるが。

答 このように指摘をいただいたことは遺憾である。方針が徹底されているか調査、検証をする。結果、不備がある場合、新たな手法を講じていきたい。

問 一般廃棄物最終処分場建設工事が減額になった訳は。

答 発注準備などで工事が厳寒期にかかるため、安定

問 安比高原の刈り払いについて、毎年予算を取るべきだ。

答 登山道の刈り払いは予算措置している。全体の刈り払いについては、ボランティアの方々と協議して進めたい。

問 今年度の国有林内の部分林の販売予定箇所は何箇所か。

答 6カ所である。

問 防犯無線の点検後の状況はどうか。

答 安代地区から、改善されていないという苦情があり、引き続き改善に努める。

問 昨年度、工事で500基近く設置した。まだ一部について線の引き込みが終わっていないので、急いで対応するよう電力会社をお願いする。

問 今年度の国庫有林内の部分林の販売予定箇所は何箇所か。

答 6カ所である。

問 防犯無線の点検後の状況はどうか。

答 安代地区から、改善されていないという苦情があり、引き続き改善に努める。

問 昨年度、工事で500基近く設置した。まだ一部について線の引き込みが終わっていないので、急いで対応するよう電力会社をお願いする。

問 今年度の国庫有林内の部分林の販売予定箇所は何箇所か。

答 6カ所である。

問 防犯無線の点検後の状況はどうか。

答 安代地区から、改善されていないという苦情があり、引き続き改善に努める。

政務調査費の収支報告

21年度、市が各会派に交付した政務調査費に対し、領収書を添えて報告した収支報告の内容を紹介します。

同年度の政務調査費の平均使用率は95.4% (20年度実績と同率) で、2会派と1議員から合わせて286,837円 (20年度よりも1,487円増) が市に返還されました。

政務調査費は、議員が調査研究するための経費の一部

として交付するもので、本市では議員1人当たり月額2万円を交付。条例で定めた用途基準に基づく使用が義務付けられ、市政に関する調査研究に該当しない「交際費的経費」(せん別、慶弔、寸志、病気見舞、年賀状の購入・印刷代金など)、「政党や政治団体の活動経費」「飲食費」「選挙活動経費」「名刺代」などは対象外となっています。

政務調査費の収支報告額 (平成21年4月分から22年3月分まで)

項目	新生会	八起会	緑松会	日本共産党	北口和男	瀬川健則	合計	単位
所属人数 (A)	11	5	5	3	1	1	26	人
交付額 (B) (A)×2万円×12カ月	2,640,000	1,200,000	1,200,000	720,000	240,000	240,000	6,240,000	円
1 調査研究費	2,224,505	847,432	1,161,739	600	114,445	140,195	4,488,916	円
2 研修費				64,514		76,400	140,914	円
3 会議費							0	円
4 資料作成費							0	円
5 資料購入費	158,001	12,500	56,420	30,500	43,745	27,700	328,866	円
6 広報費				556,344			556,344	円
7 事務費	146,628	245,907	5,356	90,698			488,589	円
8 その他の経費							0	円
使用合計額 (C)	2,529,134	1,105,839	1,223,515	742,656	158,190	244,295	6,003,629	円
使用率	95.8	92.2	100	100	65.9	100	95.4	%
返還額 (D)=(B)-(C)	110,866	94,161	0	0	81,810		286,837	円

※使用合計額(C)が交付額(B)を超えている場合、使用率は100%と、返還額(D)は0円と表示しています。



大森力男 議員（新生会）

一般質問

質問した事項

- ・八幡平市の活性化について
- ・市総合計画の後期基本計画について

市の活性化・人口定住対策

副市長

住宅団地の整備に向けて検討



民間資本によって開発され、市内の一大住宅団地となった大更地区・ひまわりニュータウン

大森議員 活性化を図るには、定住対策として経済的基盤整備が必要で、働く場と生活の場それぞれ必要となる。誘致企業は多くの業種が存在し、世界や全国を見据えた誘致活動が必要と考えるが、どうか。

に合った誘致活動を積極的に推進するとともに、既存企業にもサポートを図りつつ、付加価値をつけた第6次産業の振興も促進したい。

大森議員 今後、新たな住宅団地の整備を進め、定住対策の推進が必要と思われるが、どうか。

副市長 盛岡市内に近く、

大学や自衛隊などもあり、立地条件に優れた場所も存在し、基本計画などで検討しながら、後期計画で具現化したい。

大森議員 少子化が社会問題化する中、昨年度、結婚相談事業をスタートさせたが、その事業内容と今後の見通し、また、子育て支援対策の更なる充実とPR方法を伺う。

市長 男女の出会いの場を創設するため、16人の委員による後継者育成推進協議会を設置し、会員登録を実施した。今後、登録会員の増員と出会い支援を実施する団体などに20万円の助成事業を実施したい。また、IGRの車両にPR用のスペースを確保したので、活用していきたい。

大森議員 地方自治体と協力する協働のまちづくりは、新たな運営方法として注目されている。市内のNPOや各種団体などを協働の相手として積極的に活用し、地域の活性化を図るべきと思うが、いかがか。

市長 専門分野で活動しているNPOや団体、事業者などが存在し、協力関係を

なく、しばらくの間は、九州も含め、県外からの導入を見合わせるよう関係機関に連絡している。

北口議員 口蹄疫は、牛や豚、山羊、羊、鹿など偶蹄類の感染力が非常に強いと言われているが、県家畜保健衛生所には、防疫対策のマニュアルが整備されているか。ないとすれば、早急に作成する必要があると考えるが、市としてどこまで掌握し、畜産農家へ指導しているか。

市長 県における口蹄疫防疫マニュアルは、平成16年3月に策定されており、そのマニュアルに沿って行動している。現在の行動内容は、防疫措置に関する関係機関との連携、農場リストの整備および埋却場所の確保対策のための農家調査を行っている。

構築しながら、事業の共催や委託事業を進めたい。また、それぞれの役割分担と責任を明確にし、まちづくりを進める。

後期計画策定に向けての方針は

大森議員 八幡平市は合併して満5年を迎え、節目の年となり、前期基本計画が終了し、後期計画の策定年度となる。前期基本計画の達成度など実績とその所感を伺う。

市長 事業の進捗状況は、21年度末で213事業の80%を見込んでおり、社会基盤の整備など各分野において計画的に施策を進めてきた。

大森議員 新計画は厳しい予算の中で策定されるが、基本となる計画方針を伺う。

市長 限られた財源の中で、部門ごとの事業連携を重視し、評価を踏まえて実現性のある計画づくりを進めた。

大森議員 住民からの要望など、民意をどう反映させるか。

市長 意識調査や地域振興協議会と懇談の場を設ける。

一般質問



北口和男 議員（無会派）

質問した事項

- ・医療の充実について
- ・家畜保健衛生対策について

北口議員 高齢者の目の悪い方々が市内に受診できる病院がなく、遠く盛岡の病院に通院しなければならぬ状況にあり、治療に大変苦労している。西根病院に週1、2回の眼科診療を行うっていただきたいとの要望が多くあるが、考えを伺う。

市長 現在、西根病院では、常勤医師が内科2人、外科1人で、小児科を含め3科の診療と岩手医科大学からの応援で週1回の糖尿病外来を、県立中央病院からの応援で月1回の循環器内科、腎臓内科、血液内科、神経内科の各専門外来を開設している。また、救急指定病院にもなっており、開設に当たっては、診療室、専門の検査機器および処置器具などの整備、医師確保と併せ、現状での対応は非常に困難と考えている。



国保西根病院では、三浦義明病院長を先頭に皆さんの生命や健康を守っています

北口議員 市民は近年、風邪を患うと呼吸器科だけでなく、耳鼻咽喉科の所轄する病状が多く、完治するまでかなりの日数を要する状況にある。市内もしくは西根病院内に診療科目を増やしていただきたいとの要望

が多くあるが、考えを伺う。

市長 眼科と同様に耳鼻咽喉科医師は県内で69人と、平成20年比較で5人減少し、不足の状況にある。今後、市の総合計画で病院の移転新築に併せて検討する。

家畜防疫体制は万全といえるか

北口議員 九州・宮崎県で発生した口蹄疫は、発生から1カ月以上経過したにもかかわらず、衰えようともしていない。本市の畜産農家は同じ思いで心を痛めている。県では、3月以降に九州から導入された牛405頭を全頭検査し、異常はなかったとのことだが、当市には何頭導入されたか。また、今後、繁殖素牛の導入の考えを伺う。

市長 関係者などからの調査結果では、九州導入牛は

市長

移転新築に併せて検討する

西根病院に眼科と耳鼻咽喉科を



渡邊 正 議員 (自由クラブ)

一般質問

質問した事項

- ・がん予防対策について
- ・家畜法定伝染病対策について
- ・高齢化対策について

子宮頸がん 接種の市の対応は

市長 単独公費での助成は難しい



子宮頸がんはワクチン予防だけでは完全予防できません。接種後も検診を受診することが重要です。

渡邊議員 子宮頸がんワクチン接種を希望者だけでも公費負担はできないものか。

市長 子宮頸がんは、予防接種法に基づいた定例予防接種ではないため、任意の予防接種で、被接種者と接種医との相談により行われる仕組みとなっている。制度上、任意接種により健康被害が出た場合、独立行政

法人薬品医療機器総合機構法による救済となり、予防接種法よりも救済補償額が低額である。

また、ワクチン接種だけで完全予防はできない。接種後も検診が重要となる。効果の持続期間も、今のところ約6年間であることしか確認されておらず、長期間の持続については推計の

危機管理対策は

段階であることなど、さまざまな問題があるため、単独公費の助成は、現状での実施は難しい状況にある。

しかし、今後は子宮頸がん検診の受診率の向上に助成制度の確立を市として国に對して要望し、他市町村の動向を見ながら検討したい。

成を実施し、脳血管疾患の早期発見に努めている。各地区で実施している健康教室などにも、認知症予防講座を取り入れ、活動を展開している。開設には、CT（コンピューター断層撮影）などの検査機器の整備や専門の技師、ソーシャルワーカーなどの配置も必要で、専門外来の増加につながる現状となり、必要性は認識するが、当市での開設は非常に厳しい、難しい状況である。盛岡市医師会では所属医院などで物忘れ検診を実施し、検診の結果に基づき専門的医療機関への紹介事業を行っており、参考になる例と考えている。市民の不安を解消するため、医師会などと協議し、相談、検診体制を強化するとともに、予防活動にさらに努めていきたい。

用語解説

「物忘れ外来」が必要ではないか

渡邊議員 高齢化に伴う物忘れ外来の必要性について

市長 脳ドック検診への助

主に社会福祉事業などに従事し、社会福祉援助技術を用いて社会的に支援を必要とする人とその環境に働きかける専門職



三浦 侃 議員 (八起会)

一般質問

質問した事項

- ・前期基本計画と後期について
- ・改正過疎法について
- ・広域観光圏について

三浦議員 合併時の新市建設計画の8つのプロジェクトの前期基本計画における位置付けと経過はどうか。

また、前期でまだ手がついていないものは、後期計画の中で全部やっていくのか、いかないのか。変更の場合は、どう説明するのか。

市長 新市建設計画のプロジェクト事業は、①農林業振興、②観光や商工業振興、③庁舎建設、④芸術文化振興、⑤医療・子育てなど健康やか事業、⑥公共交通システム、⑦広域幹線道路などインフラ整備、⑧スポーツ振興の8つを位置付けし、総合計画においても、主要事業を重点施策として位置付けている。具体的には、リンドウの雪氷貯蔵施設、新庁舎の基本設計、シルバード人材センターの設置、安代地区コミュニティバスの

三浦議員 改正された過疎法による自立促進計画と後期基本計画は、どのように進めるのか。

市長 過疎地域の指定を受けることになるが、過疎計画は市の総合計画との整合性が不可欠であるため、策定作業を一元化するなど

自然エネルギー 活用した庁舎を

運行、市道岩手山1号線の全面開通、全国規模の各種スキー大会の開催など地域振興事業を実施してきている。また、これらのプロジェクトには、合併前の旧町村の大きな意思が入っており、優先順位などで『やらない』という場合には、合併協定書にあるとおり、計画の大きな変更について地域審議会や議会に対して当然説明していく。



雪冷房りんどう培養育苗生産施設は、前期基本計画の中に位置付けられ、平成19年度に完成。培養などが行われています

本年度中に並行して進める。

三浦議員 豊かな自然エネルギー供給のまち八幡平市を発信すべく、新庁舎の屋根に太陽光発電の導入や間

伐材、木造家屋の解体材など排出されるすべての木材を利用するため一箇所に取り集し、木質バイオマスエネルギーの利用促進を林業振

興と雇用を含め、産官学で協議の場を設けてはどうか。

市長 新庁舎の設備については、つくるべきときは、環境に優しいクリーンな庁舎としての位置付けを行う。空調は地中熱を利用。暖房設備はチップ・パークによる市産材を有効活用する方針で検討している。太陽光発電の設置も補助制度、導入コストなどを精査しながら、庁舎建設費の負担軽減と二酸化炭素排出削減量を売って収入を得る方法もあるため、その貢献などを考えた上で総合的に判断していく。また、木質バイオマスエネルギー施設の導入については、コストの減少を図るため、大学や専門家の意見を聞きながら、また、行政として先導的な役割を果たすためにも、公共施設への導入は必要と考える。

新市建設8計画に変更はないか

市長 優先順位変更の場合 議会に説明



古川津好 議員（緑松会）

一般質問

質問した事項

- ・岩手山の登山道と山開きについて
- ・観光キャンペーンについて
- ・予算説明書について

上坊の神社への道路整備

市長 可能な範囲で対応したい



市道岩手山1号線（岩手山パノラマライン）から上坊岩手山神社への入り口。ここから岩手山1号線を300ほど北北上すると上坊登山道入り口があります。

古川議員 パノラマラインから岩手山登山の上坊コースに位置する岩手山神社まで、車で直通できるように

道路を整備することはできないか。
市長 現道路は歩道であり、市が整備するのであれば、

古川議員 今年は、「いわて・平泉キャンペーン」、そして、2012年は、岩手県での単独開催となるJR（日本旅客鉄道）グループ6社による国内最大規模の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」が行われる。このキャンペーンと連動して、市としてどのように取り組み、

チャンス生かし観光の振興図れ

市長 この周辺は、特別天然記念物である焼走り熔岩流に接していることや国有林野であることから、慎重に取り進めて行くことが必要と考えている。

古川議員 岩手山登山焼走りコースの途中から上坊の神社までの登山道を新設することにより、上坊への連絡道路の用途に加え、新たなトレッキングコースとするなど、多様な利用が可能になると思われる。新道の検討はできないか。

古川議員 2年連続して市の予算説明書が今年も発行されていないが、どのようになっているか。もし、発行を取りやめたのであれば、それはなぜか。
市長 当初は発行する予定であったが、各種の申請方法など市民に役立つ情報にしたいという意見が寄せられたことから、内容を再検討することにした。合併時に作成した「八幡平市くらしのガイドブック」のリニューアルを含め、再検討する方向で進めて参りたい。

なぜ発行しない市の予算説明書

観光振興を図っていく考えか。
産業部長 キャンペーンの内容がまだ発表されていない段階である。今年10月に県内関係機関で大型観光キャンペーン推進協議会が設立され、その後、各市町村で具体的に取組むことになる。八幡平市としては、アスピーテラインの雪の回廊と満開のさくらなどを売り出したいと考えている。

一般質問



遠藤公雄 議員（自由クラブ）

質問した事項

- ・西根地区スクールバス実施の結果はいかに
- ・新卒者雇用助成金の成果について
- ・七時雨山、田代平周辺観光施設整備について

西根地区スクールバスの検証は

教育長 順調に運行されている

遠藤議員 西根地区で初のスクールバス運行の検証はどのようになっているか。
教育長 渋川方面、山後方面、若谷地・館沢方面の3路線とタクシーの利用による西根団地方面の計4路線の利用児童生徒は、小学生が62人、中学生が16人、タクシーが小学生12人の計90人である。2カ月経過し、路線変更などの要望が2件ほど出されているが、順調に運行されている。
遠藤議員 父兄や子どもたちにも非常に評判も良く、元気に通学していると見ているが、小学生4キロ以上、中学生6キロ以上とした基準は何か。
教育次長 以前から実施している松尾地区、安代地区と同じ基準としている。
遠藤議員 今後、改善事項などを検討の上、より良い

スクールバス運行となるよう要望しておきたい。
地元高卒未就職生徒の解消必要
遠藤議員 緊急新規学卒者雇用奨励金制度について、前回12事業所18人の内定者と聞いたが、どう進展したか。
市長 この制度は、平成22年2月1日から3月31日までの間に新規学卒者の採用を内定し、22年4月1日から30日までの間に新たな常用労働者として雇用することを交付対象雇用主の条件とし、奨励金の交付額は月額10万円を限度に23年度まで2年間としている。これまで、17事業所23人の申請を交付決定した。
遠藤議員 地元高校で9人未就職生徒がいるという報告だったが、その後の状況



今年4月から運行されている西根地区のスクールバスは順調な滑り出しです（寺田小学校前）

は。
商工観光課長 最終的に正式に就職しなかったのは6人だが、アルバイトなど何かの職に就いているようだ。
田代平の一本桜保護対策検討を
遠藤議員 西根側からの七時雨登山口周辺の公衆トイレ設置の要望が多いが、どう考えているのか。
市長 七時雨地区体験観光施設の有効利用を登山者にアピールしていきたい。
遠藤議員 監視小屋へトイレを貸してほしいと来る女性登山者の対応に、監視人も困っているとのことだ。日本百名山の名に恥じない、登山者に優しい配慮を願う。
商工観光課長 まず、既存の施設の有効活用を徹底していきたい。
遠藤議員 田代平の一本桜の保護策について、県緑化推進委員会が勧めている対応を利用することはできないか。
商工観光課長 所有者など関係者と協議しながら、今後の保護対策に努力したい。
遠藤議員 周辺の木も桜の邪魔になっており、関係者と協議の上、善処してほしい。



田中 榮司夫 議員 (新生会)

質問した事項

・市の当面の教育問題について

一般質問

”読書“は学力向上や市発展の要

教育長 学校教育計画の中に位置付け

田中議員 読書は学力向上の最大の要素と思うが、現場ではさほど重点化されていないのではないかと。地教委の指導体制はどうなのかを伺いたい。また、市の「読書の街」づくりの考えはどのようなのか。

教育長 読書は児童生徒の思考力、想像力、知識などの源であり、学力向上につながる要素は多大である。市の学校教育計画の中に、読書の取り組み、読書活動の積極的推進を位置付けている。日課表の中で読書時間を積極的に確保する学校が多くなってきている。市の「読書の街」という考えは、現在のところ具体的に考えていないが、生涯学習での読書推進、必要図書整備、市立図書館のさらなる充実への取り組みを考えている。

田中議員 市の児童生徒の学力の実態(学力調査)をつぶさに父母や市民に分かりやすく通知されているのか。

教育長 学力の実態を客観的に把握する調査としての標準学力テスト・県学習定着度調査を全小、中学校で実施している。各学校では、定期テストを実施して学力の実態把握に努めていて、生徒本人や保護者に対しては、通知表や個表で分かりやすく伝えられている。標準学力調査結果などは、あえて市民に公表するものではなく、児童生徒のために活用する立場のものと考えている。



子どもたちでにぎわう市立図書館。小さいころから本に親しむことは、とても大切なことです

上や教育向上は、教師によることが大きく、そのため、県立総合教育センターと連携して、市の学力向上プロジェクトを立ち上げ、学校の教育課題の解決を図る研究

修体制が掲げられ、自立した教員が育っていると確信している。

教育長 現在、学校不適応状況は、小学校で別室登校2人、中学校で完全不登校が2人、別室登校が5人、適応指導教室が2人である。当局の具体策は、適応指導教室の設置、スクールカウンセラーや適応支援相談員およびスクールソーシャルワーカーの配置など、不適応児童生徒の心と学習のケアを行ってきており、不適応に悩む生徒および保護者の心の支えにも強い意識で対応している。

用語解説

スクールカウンセラー 心の問題などに対応するため、学校に配置される専門家
スクールソーシャルワーカー 学校や地域社会、家庭と連携して子どもたちが抱える問題の解決を目指す専門家

質問した事項

・国保税の減免規則改定について
・国民健康保険の一部負担減免について

一般質問



高橋 悦郎 議員 (無会派)

国保税の減免規則改定を

市長 来年4月から施行したい

高橋議員 12月議会に引き続き質問する。年間所得200万円台で、30万円から40万円の負担が強いられるなど、支払い能力を上回る国保税に市民は悲鳴を上げている。特に国保加入者の中で、年収120万円以下

下の世帯が全体の半数を占めている現状で、高額な国保税負担はもはや社会問題と言わなければならぬ。現在の減免規則では生活困窮者への減免はできない。そこで生活保護を基準にして、所得に応じ減免できる

制度を具体化することが求められているが見解を。
市長 国保税の減免については、市が税の権利を放棄するものであり、慎重に検討しなければならぬ。12月議会の質問を受けて今、減免規則の改定に向けて見直しの作業を進めているが、生活保護基準をベースにしていききたい。納税者に対して不公平感のないようなものにするため慎重を期している。実施に当たっては来年度の4月に施行できるようにしたい。

治療費の負担を軽減する制度を

高橋議員 全国保険医団体連合会という医師の全国組織が受診抑制について調査した内容が報道されている。それによると、患者の経済的理由で治療を中断した例があったと回答したのが39割、歯科診療所では半数が出た。実態は、年金や給料が出るまで受診を伸ばす、所持金の範囲内で治療を希望するなどの例が非常に多かったという記事であった。市内の実態をつかんでいるか。

市長 受診抑制が報道されていることは承知している。西根病院に確認したら、わずかであるが事例があった。医師や会計窓口では相談しにくいだろうから隠れているものと認識している。
高橋議員 国保法第44条では、「医療機関で一部負担金の支払いが困難であると認められる者に対し、一部負担金の減免・猶予ができる」となっている。県内には8市町村で減免のための規則を定めているが、当市にはそのための規則がない。医療が必要とき、安心して医療を受けられるために、一部負担金の減免・猶予ができる制度をつくるべきだ。見解を。
市長 国では、診療抑制について対策を検討している。このことで全国30の自治体でモデル事業を行い、その実態の報告を受け、一部負担金の減免・猶予の運用をどのようにするか、この7月をめどに各市町村に示されることになっている。当市としては、国から示されたその基準を基に、実施することを前提に取り組んで参りたい。



封筒に封入され、7月中旬に郵送された国民健康保険税納税通知書。来年4月から減免規則が改定されます

新生会

田村孝(代表)、松浦博幸、瀬川健則
田中榮司夫、工藤直道、大和田順一
渡辺義光、大森力男、立花安文

第6次産業で地域を活性化

新生会では、7月6日から8日まで、①三重県伊賀市のモクモク手づくりファーム、②三重県多気町のせいわの里まめや、③横浜市の一戸町アンテナショップ「ナチュラル・エッセイ」、④東京銀座の岩手県アンテナショップ「いわて銀河プラザ」の4カ所を視察研修しました。

今回の視察目的は、農業を中心に第6次産業に取り組んでいる先進地を学ぶこととアンテナショップの実態を調査することでした。



モクモク手づくりファーム (三重県伊賀市)

雇用は大半がパートやバイトながら約800人の企業でした。

平成15年に地域農家35人が設立した農業法人で、田舎で農村料理レストランを経営しており、料理の中心は地元の営農組合が栽培する大豆を加

工した豆腐、おから、揚げなど。レストランはバイキング方式。約30種類の料理が食べ放題になっており、食材に魚介類は一切使わず、全て地域で取れる地場産物で賄っていました。昼食バイキングのみで1日平均の来客数が1000人。大半が車で1時間近くかけて来てくれるそうです。

22年前養豚農家を中心になってハムソーセージの加工からスタートした農業法人で、農場を中心に農産物直売所、レストラン、宿泊施設などに年間50万人の来場者があり、通販を含む売上額は47億円、

観光気分を体験できるとあってアンテナショップは人気スポットなそう、今年1月にオープンした一戸町のショップは、岩手のお店として頑張っていました。また、いわて銀河プラザの1日入館者は約2千人、年間販売額は約6億円でした。

永年の功績をたたえる

全国市議会議長会から表彰

本市議会の議員3人(前議員も含む)が、全国市議会議長会(五本幸正会長)から表彰を受けました。

今回、全国市議会議長会表彰規程に基づき表彰されたのは、瀬川健則議長、高橋光幸副議長、工藤忠義前議員の各氏。瀬川議長は市議会議長を4年間、高橋副議長は市議会副議長などを5年間務めた功績での表彰です。また、高橋副議長、工藤前議員は、市議会議員の勤続年数が通算10年以上(町村議会議員としての年数は、その2分の1を



表彰の伝達を受ける
瀬川健則議長



高橋光幸副議長は2つの表彰を受けました



勤続10年以上で表彰を受けた
工藤忠義前議員

自由クラブ 緑松会

関善次郎(代表)、遠藤公雄、渡邊正
高橋喜代春
高橋光幸(代表)、伊藤一彦、古川津好

観光と農業さらなる連携を

自由クラブと緑松会は合同で、7月6日から8日まで視察研修を行いました。

北口農場は、減農薬栽培による付加価値化とコスト低減を目標に経営されています。小麦、豆類など畑作4品を作物としており、将来は6次産業化したいとのことでした。当市には多くの遊休農地があり、遊休農地解消の参考にしたいと感じました。



帯広市農業技術センター・北口農場

③手作り体験(チーズ、そば打ち)、④農家民宿などが行われており、パンフレットを作成して道の駅などで配布し、広報活動に取り組んでいました。当市が掲げている「農と輝の大地」のキャッチフレーズの実践に向け、参考にしたいと感じました。

勝るとも劣らない分析データが出ているようです。米の産地は、地球温暖化の影響によって移動することも考えられますので、今後も全国各地の品種改良の情報収集に努め、当市の農業発展に役立てていきたいと思っています。

地方独立行政法人道立上川農業試験場

上川農業試験場の稲の品種改良については、「きさら397」から「ななつほし」「ほしのゆめ」、そして今後全国的に注目されるであろう「ゆめびりか」の育種に成功。今年度「ゆめびりか」の作付けは3000畝とのこと、あきたこまちやひとめぼれ、こしひかりに

議会の動き (5月1日から6月17日まで)

- ◎5月
 - ▶11日 平成22年第2回臨時会
 - ▶13日 全国自治体病院経営都市議会協議会第38回定期総会
 - ▶17日 平成22年度八幡平市建設協同組合通常総会
 - ▶19日 平成22年度八幡平市企業懇談会総会
 - ▶20日 平成22年度第60回全国高等学校スキー大会実行委員会設立総会
 - ▶20日 平成22年度八幡平市スキー大会実行委員会総会
 - ▶21日 平成22年度八幡平市商工会通常総会
 - ▶22日 田頭小学校運動会
 - ▶24日 平成22年度八幡平市行政連絡会
 - ▶25日 全国温泉所在都市議会議長協議会第39回総会
 - ▶25日 平成22年盛岡北部行政事務組合議会第1回臨時会
 - ▶26日 全国市議会議長会第86回定期総会
 - ▶26日 名護市議会総務財政委員会行政視察への対応
 - ▶27日 天皇陛下拝謁
 - ▶27日 岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会理事会
 - ▶27日 平成22年度県土整備部関係団体通常総会合同総会
 - ▶28日 (社)八幡平市シルバー人材センター第1回通常総会

- ▶28日 平成22年度八幡平市国際交流協会総会
- ▶30日 第4回八幡平ふるさと会
- ▶31日 いこいの村岩手5周年祝賀会
- ◎6月
 - ▶2日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成22年度第1回要望会
 - ▶6日 平成22年度七時雨山山開き
 - ▶7日 平成22年度北方領土返還要求運動岩手県民会議総会
 - ▶10日 第71回国民体育大会岩手県準備委員会第4回総会
 - ▶12日 第62回岩手県民体育大会・第24回ゲートボール競技開会式
 - ▶13日 遠野物語100年祭記念式典
 - ▶14日 第37回東北総合体育大会八幡平市実行委員会設立総会
 - ▶14日 議会運営委員会
 - ▶15日 平成22年度全国すし連東北ブロック会議懇親会

◎おわびと訂正
4月8日発行の議会だより第19号に誤りがありました。おわびの上、訂正します。
▶4ページの写真説明、佐藤綾佳主事補の所属課 (誤)「地域振興課」→ (正)「地域福祉課」

9月定例会の日程について (予定)

9月定例会は、9月上旬から約2週間開催します。傍聴を希望される方は当日、市役所3階・議会事務局までおいでください。
なお、詳しい日程が決まり次第、ホームページに掲載します(定例会初日のおよそ5日前)。

ご覧ください。市議会ホームページ

市議会ホームページに、議員名簿や会期日程、一般質問要旨一覧などを掲載しています。市トップページ左側に、市議会のバナー(横長の細い見出し画像)がありますので、そこをクリックしてご覧ください。
詳しくは議会事務局(☎76-2111、内線1323)まで。



平成22年7月18日、三浦満さん宅前

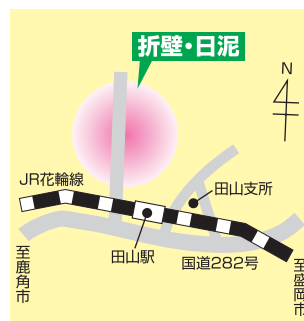
先人から受け継ぐ(1) おりかべひどろさきはら 折壁・日泥先祓い

先祓いは、みこしとぎよ神輿渡御などに先立って道を清めて歩く露払い的芸能で、練り踊りの一種です。

折壁・日泥先祓いは、折壁地区の八幡神社の祭礼（もとは6月15日、現在は7月第3週土・日）の前の晩と当日、折壁・

日泥・石名坂地区を神輿が渡御し、その先頭で、地区の園児、小・中・高生らによって踊られています。

- 保存会代表 角館利雄さん
- 市指定無形民俗文化財 昭和52年4月6日、旧安代町指定



前列左から、三浦侃委員、伊藤一彦委員長、渡邊正副委員長
後列左から、大森力男、高橋悦郎、立花安文の各委員

**あ
と
が
き**

合併後2回目となる市議会議員選挙が行われ、24人の議員が決まり、それに伴い、広報特別委員会の委員も新しく6人が選出されました。

当委員会では、議会で話し合ったことや決定したことを通して、議員の活動内容を市民の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、精いっぱい努めて参ります。

ところで、今号から表紙と裏表紙を新しい企画にしました。表紙は八幡平市の未来を担う小、中学校16校の子どもたちを、裏表紙は先人の努力によって受け継がれてきた伝統芸能を連載していきます。

取材へのご協力をお願いするとともに、今後とも議会だよりのご愛読を心からお願ひ申し上げます。

議会広報特別委員会委員長 伊藤一彦